

「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議および第5回認証審査会議事要録

日 時：2022年6月26日（日）13:00～16:30

場 所：WEB会議（Zoom）

出席者：（各学会等代表者）小切間美保、武見ゆかり（日本栄養改善学会）
赤尾正（日本給食経営管理学会） 早瀬仁美（日本高血圧学会）
津下一代（日本肥満学会） 濱田千雅（健康経営研究会）
助友裕子（日本健康教育学会） 長井美穂（日本腎臓学会）
竹本 稔（日本動脈硬化学会） 笛木賢治（日本補綴歯科学会）
由田克士（日本産業衛生学会） 武藤倫弘、若林敬二（日本がん予防学会）

オブザーバー

（日本栄養改善学会食環境整備委員会 外食中食部門審査WG）赤松利恵、串田修
（外食・中食部門審査WG）小山達也

（日本給食経営管理学会事業部スマートミール認証審査委員会）市川陽子、田丸淳子
（事業部長）石田裕美

（給食部門審査 補助）猪瀬多巳江
（事務局）土屋 文

欠席者：綿田裕孝（日本糖尿病学会）梅澤光政（日本公衆衛生学会）
6月30日別途説明・意見徴収

1. 開会：出席者自己紹介の後、議事に入った。
議長は規約に基づき、世話役の日本栄養改善学会 小切間 美保が務めた。
2. 「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議
 - 1) 第6回認証制度 応募状況及び技術審査結果について（報告）
武見委員より応募及び更新について、全体の状況の説明があった。

	応募件数	本審査件数	内、審査料 免除申請	認証☆数（予定）		
				★	★★	★★★
計	92	90	6/90 (6.7%)	27	33	30
外食部門	24	22	3/22 (13.6%)	10	6	6
中食部門	18	18	3/18 (16.7%)	8	7	3
給食部門	50	50	0/50 (0.0%)	9	20	21

応募件数では、外食・中食部門は、ほぼ例年通りであったが、給食部門は、昨年に

比べ約半分であった。また、今回より審査料を徴収することになったが、免除申請は全体の6.7%で、当初の予定よりも少なかった。給食部門の減免申請はなかった。

次に、各部門の審査WGより説明があった。外食部門では、24件中2件本審査に進めることができなかった。1件はスマートミールの目指すところのイメージが、店主のかたの目指すものと異なり応募を辞退、もう1件は介護老人施設での提供であったため認証対象外となった。給食部門では、応募が少なかった理由として、コロナ禍の影響に加え、応募希望事業者が一巡した傾向にあると報告があった。今後は、地方の小さな工場に期待したい。

2) 第4回認証及び第1回・2回認証2020年更新事業者の更新状況について(報告)

各部門の更新状況についてWGより以下の報告があり、第2回は昨年更新済を除く認証事業者が対象との説明があった。

	認証時	更新 (更新率)	内、審査料免 除件数	詳細	
外 食 部 門	計	54	37(68.5%)	15(40.5%)	
	第4回認証	18	12(66.7%)	3(25.0%)	17(54-37)件のうち、更新しない11件、不明6件
	第1・2回認証 (2回目更新)	36	25(69.4%)	12(48.0%)	
中 食 部 門	計	32	26(81.3%)	5(18.5%)	
	第4回認証	15	12(80.0%)	3(23.1%)	6(32-26)件のうち、更新しない2件、不明3件
	第1・2回認証 (2回目更新)	17	14(82.4%)	2(14.3%)	
給 食 部 門	計	136	82(60.3%)	0(0.0%)	
	第4回認証	94	57(60.6%)	0(0.0%)	55(136-81)件のうち、更新しない31件、不明24件
	第1・2回認証(2 回目更新)	42	25(59.25%)	0(0.0%)	

外食・中食部門は、例年どおりの更新で、減免申請も予定より少なかった。給食部門は2回目の更新にメリットが少ない等の理由で、更新されず、約6割程度となった。

3) コンソーシアムの決算および予算について(報告)

武見委員より2021年度(2021年8月1日~2023年7月31日)中間決算の報告があった。負担金として、日本栄養改善学会より80万円、日本給食経営管理学会より20万円の入金があった。審査料では、減免は予想より少なく、外食・中食及び給食部門とも予算より多い結果となった。また、賛助会員について、現在、企業5口5社、1口4社、個人2口2名の入会があり、名簿が紹介された。6月15日現在の収

入合計は、3,589,739 円、支出合計 1,657,321 円、今期支出予定を含めた次期繰収支差額は 994,198 円である。

次に、2022 年度予算案について説明があり、収入の部では、日本栄養改善学会・日本給食経営管理学会からの負担金及び審査料、賛助会員会費収入等を含め、収入合計 3,635,005 円である。支出の部では、事務局人件費、WEB 応募フォームなどの通信費、また、法人化準備・維持費等も含め、支出合計 3,306,800 円となり、次期繰越収支差額 1,322,403 円である。

- 4) 国の政策との関係について (厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト (SLP) 」)
SLP の WEB サイトが紹介され、「スマートミール探訪」では、認証事業者のインタビューを公開していると報告があった。

- 5) 厚生労働科学研究 林班との連携について (報告)

分担研究者である赤松氏より資料に基づき、研究報告があった。希望者には、報告書送付も可能である。また、スマートミールの HP にも論文を紹介しているが、一般の人でもわかりやすい解釈も必要である。

- 6) コンソーシアムの法人化について (審議)

武見委員より資料に基づき説明があった。設立時社員及び設立時理事については現在のコンソーシアム世話人 (日本栄養改善学会) 及び副世話人 (日本給食経営管理学会) より以下の推薦があったと報告された。

設立時社員 日本栄養改善学会 (武見ゆかり・村山伸子)
日本給食経営管理学会 (赤尾 正・狩野恵美子)

設立時理事 日本栄養改善学会 (武見ゆかり・赤松利恵・黒谷佳代・串田 修)
日本給食経営管理学会 (市川陽子・田丸淳子・狩野恵美子)

また、設立後社員、設立後理事の役割、及び新法人の認証審査委員会についての説明があり、新法人の組織図 (案) も提示された。各学会代表より意見を徴収し、この件については、会議終了後、それぞれの学会に持ち帰り、審議していただくこととなった。

- 7) 認証基準の見直しについて (審議)

市川給食部門 WG 委員より、日本食品標準成分表 2020 年版 (八訂) で栄養計算

を行うことにより、数値が変わることから、八訂で計算した場合は基準値に幅を持たせる以下のような提案があった。

八訂の場合の見直し案：

エネルギー量は、1食当たり 450～650kcal 未満（通称「ちゃんと」）と、650～850 kcal（通称「しっかり」）の2段階とする。

↓

エネルギー量は、1食当たり 450～630kcal 未満（通称「ちゃんと」）と、610～850 kcal（通称「しっかり」）の2段階とする。

審議の結果、なるべく早く検討し、「第7回認証応募（および第3回、第5回認証の更新）での限定」として、七訂から八訂への移行期の案を発表することとなった。

3. 第6回応募事業者の認証審査（審議）

はじめに、外食・中食部門 WG 赤松代表より個別の申請資料を基に、応募内容の説明があり、外食部門 22 事業者、中食部門 18 事業者の応募内容の認証が決定した。

次に給食部門 WG 市川代表より給食部門の第6回応募事業者について説明があり、応募 50 件の認証が決定した。

4. 第4回認証及び第1回・2回認証事業者の更新審査（審議）

はじめに、外食・中食部門 WG 赤松代表より更新内容について説明があった。今回、審査対象の星が変わる事業者は中食部門 1 件であることが報告された。

審議の結果、外食部門 第4回認証 18 事業者 第1回・2回認証 36 事業者、中食部門 第4回認証 15 事業者 第1回・2回認証 17 事業者の更新が認められた。

次に給食部門 WG 市川代表より更新内容について、今回星が変更される3つの事業所の資料の説明があった。また、1事業所は、メニューの写真の提出が審査会後になることが報告され、第4回認証 94 事業所 第1回第2回認証 42 事業所更新が承認され、決定した。

最後に新規・更新ともに認証期間の確認があり、閉会となった。

認証期間 第6回、第4回、第1回 2022年8月1日～2024年7月31日

第2回のみ 2022年8月1日～2025年7月31日

以上